

「どう働きたいか」を職員たちが考える 経営陣は関与しない「働きかた創造委員会」の活動報告 完全週休 2 日制導入後のアンケート結果も公開

「その人らしさをともに創造する」をビジョンに掲げ、精神医療や福祉サービスを提供する特定医療法人南山会（本社：山梨県南アルプス市、理事長：川崎洋介、以下「当法人」）は、2022 年 5 月に当法人内にて「働きかた創造委員会」を発足しました。その活動報告として、2024 年 4 月に導入した完全週休 2 日制に対して実施したアンケート結果をお知らせいたします。（アンケート実施日：2025 年 3 月）



■魅力ある職場作りと、患者さんや利用者さんにとってより良い療養環境を目指して

「働きかた創造委員会」は、2022 年に川崎 洋介が理事長に就任して真っ先に取り組んだ経営改善のひとつです。大切な人財である職員が、幸せを感じて働くことができれば、私たちのパーパスである「誰もが「幸せだ」と思える世界を創造する」ことはできないと考えていたからです。

魅力ある職場作りと、患者さんや利用者さんの療養環境の向上をめざす試みとなる「働きかた創造委員会」は、病院看護師や公認心理士、老人保健施設理学療法士、リハビリテーションセンター看護師など、自ら手を挙げた多職種の職員 6 名で結成されました。

「働きかた創造委員会」は、自分たちがこの職場で「どう働きたいか」を議論する場であり、経営陣は関与しません。アンケートなども参考にしながら検討を重ねた結果、「働きかた創造委員会」発足後初めての社内制度は、誰もが利用できる「完全週休 2 日制」に決定。2024 年 4 月から制度導入、運用開始となりました。

＜働きかた創造委員会～生き生きと働くための会～＞

1) 当法人職員の労働環境に関する改善案

- 2) 当法人施設に関する療養環境および施設利便性の改善案
- 3) 当法人職員の福利厚生に関する提案
- 4) 当法人事業の魅力を創造、発信する提案
- 5) その他（委員会設立趣旨・目的に準じたもの）

■完全週休2日制による人員不足はDXで軽減 人にしかできない医療・介護に集中

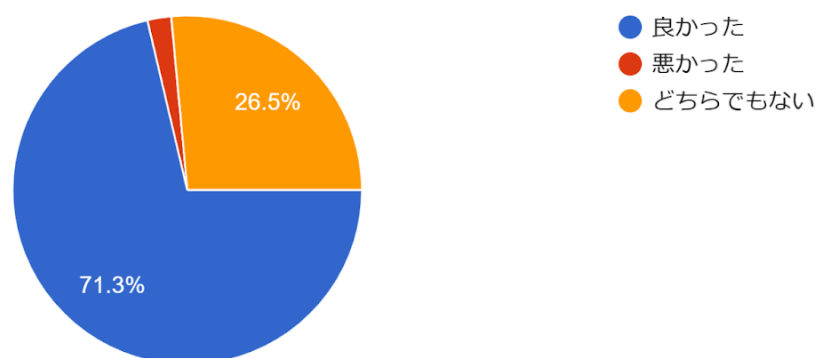
完全週休2日制を導入して約1年が経過したことを機に、当法人では2025年3月に導入後の満足度調査を実施しました（回答数136件）。「完全週休2日制を導入して良かった」と回答したのは全体の71.3%となりました。具体的な理由としては、「家族と過ごす時間が増えた」、「旅行・外出などの予定が立てやすくなった」、「家業や趣味に時間が使えるようになった」など、プライベートや家庭が充実したと回答する人が最も多い結果となりました。一方で、完全週休2日制を導入したことにより、「日勤者・全体の人数が足りず業務が回らない」、「担当患者と関われない」など、人員不足を問題視する声もあがっています。

そこで当法人では、人材不足の解消策として、事務作業を自動化するロボット技術・RPAを導入し、2025年4月11日より検証を開始しています。RPAの「人が行う作業をロボットが代替できる」という機能は、様々なメリットを生みます。人材不足をカバーできるだけでなく、ヒューマンエラーの防止、24時間365日稼働ができることによる生産性や業務スピードの向上が期待できます。RPA導入により、人にしかできない医療・介護の仕事に集中できるよう環境改善を行ってまいります。

完全週休2日制の導入は、ゴールではなくきっかけです。今後も「働きかた創造委員会」では、魅力ある職場作りと、患者さんや利用者さんにとってより良い療養環境の実現を目指して、職員主導の働き方改革を進めてまいります。

Ⅱ.完全週休2日制を導入して良かったか

136件の回答



1.良かったこと

大項目	小項目	件数	合計
プライベート・家庭の充実	家族と過ごす時間が増えた	18	52
	子供との時間が取れる・育児がしやすくなった	14	
	旅行・外出などの予定が立てやすくなった	10	
	家事や家の用事がこなしやすくなった	6	
	家業や趣味に時間が使えるようになった	4	
休息・健康の向上	身体的・精神的に楽になった、リフレッシュできた	17	28
	疲れがとれるようになった	8	
	体調管理がしやすくなった	3	
自由時間の増加	自分の時間ができた	12	25
	プライベートが充実した	8	
	やりたいことに取り組める	5	
勤務形態・スケジュール改善	まとまった休み・連休が取れるようになった	7	11
	勤務と休みのバランスが取れた	2	
	勤務日数が減ってよかった	2	
モチベーション・業務面	モチベーション向上・協力体制の良化	2	3
	仕事に集中しやすくなった	1	
その他	特にない	1	1
合計		120	120

2.悪かったこと

大項目	小項目（具体的な分類）	件数	合計
人員不足	日勤者・全体の人数が足りず業務が回らない、担当患者と関われない	32	32
業務量増加	土曜などに行っていた雑務・会議・業務を平日に回すことで日々の負担が増加	10	19
	業務整理ができておらず混乱、体制構築・準備不足、他部署応援要請の増加	7	
	平日休みが増えたことで逆に仕事が密になる（制度の使いにくさを含む）	2	
休暇制度・柔軟性の低下	平日休みが取りづらくなった／有休を使わざるを得ない状況が増加	7	19
	半日休みが取れない・半休制度の廃止により1日休む必要がある	5	
	平日にしかできない用事（受診・銀行・役所など）がこなしづらくなった	4	
	休みが固定されて調整できない、有休の取り方で損をしている感じがする	3	
モチベーション・精神的負担	出勤意欲の低下／休日後の仕事量に対するプレッシャー／通勤ストレス	3	3
その他	収入減少／希望していた勤務時間（例：9時-17時）と異なるスケジュールになったことへの不満	2	2
該当なし（特になし等）	「なし」「特になし」「特にありません」「悪いことはありません」などの記述	27	27
合計		102	102

■ 会社概要

- 【社名】 特定医療法人南山会
【設立】 1957 年 7 月 2 日
【代表】 理事長 川崎 洋介
【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421
【事業内容】
精神科病院 峡西病院
障害者地域活動支援センター きがる館
訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション
介護老人保健施設 峡西老人保健センター
就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム
【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

＜お問い合わせ先＞

特定医療法人南山会

TEL：055-282-2151（代表） 055-244-7715（直通） FAX：055-284-4886

担当：川口